

令和6年度事業計画について

平成29年に改正された「文化芸術基本法」では、文化芸術の意義と価値を尊重しつつも、文化芸術そのものだけではなく、観光やまちづくり、国際交流、福祉、教育などと連携し、文化芸術により生み出されるさまざまな価値を活用することにより、心豊かな国民生活及び活力ある社会の実現に貢献することを目的としている。また、神戸市においては、「神戸2025ビジョン」やその具体的施策として、市の文化芸術施策が目指す姿や基本的な方向性を示す指針となる「神戸市文化芸術推進ビジョン」が策定されている。

当財団でも、これらのビジョン等を踏まえ、令和4年度から令和8年度を計画年度として策定した「中期経営計画2026」に基づいて、神戸市民の文化の活動の振興に資する事業を行っていく。

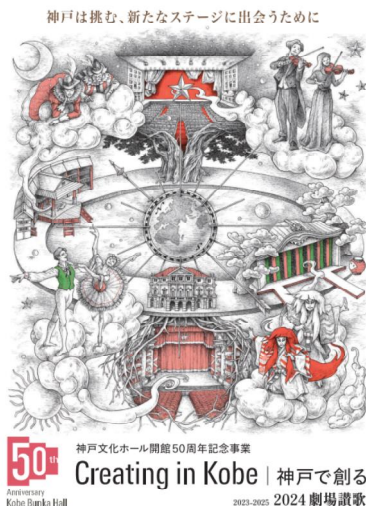
令和6年度については、神戸文化ホール開館50周年記念事業の2年目であり、神戸市混声合唱団・神戸市室内管弦楽団の総力を結集し、企画・立案・稽古・本番までの全工程を神戸で完結させるヴェルディ：オペラ「ファルスタッフ」をはじめ、「劇場讃歌」をテーマに様々な事業を実施する。また、新開地アートひろばや各区文化センターの管理運営を通して、子どもをはじめとするあらゆる世代の人々の交流や地域活性化及び文化芸術振興に資する事業を行っていく。

【主な事業内容】

（１）神戸文化ホール開館50周年記念事業

神戸文化ホールは昭和48年10月に開館し、令和5年に開館50周年という大きな節目の年を迎え、50年間、神戸市民と共に文化創造に取り組み、発信し続けてきた。そして、これからも成長を続け、個性豊かな魅力ある神戸文化の創造に寄与すべく、令和5年度より『神戸文化ホール開館50周年記念事業 Creating in Kobe | 神戸で創る』を3年間に渡り行っている。

神戸が生み出した芸術家・芸術作品、神戸で活躍する芸術家などの貴重な文化資産、そして市域をこえた近隣地域の芸術活動にも焦点をあて、これまで神戸文化ホールが積み重ねてきた歴史に学びそれを発展させながら、神戸で実演芸術を新たに創り出す。



【令和6年度（2024年度）テーマ 劇場讃歌】

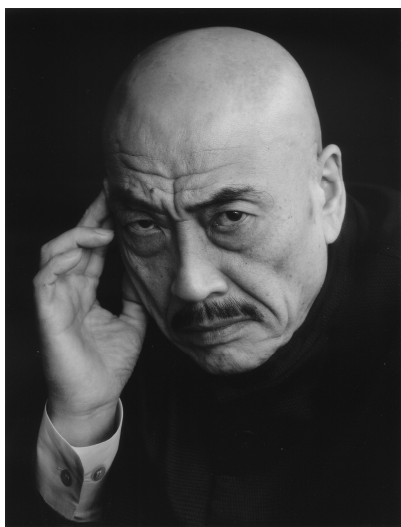
- | | |
|-------------|---------------------|
| 5/18（土） | 「コッペリア～お人形の恋の物語～」 |
| 7/13（土） | 「クレイジーキャメル」 |
| 9/11（水） | 「十三代目市川團十郎白猿襲名披露巡業」 |
| 12/21（土） | 「ファルスタッフ」 |
| 2/1（土）・2（日） | 「リビングルームのメタモルフォーシス」 |

＜貞松・浜田バレエ団 ファミリーバレエ「コッペリア～お人形の恋の物語～」＞

クラシックバレエの人気作「コッペリア」を、幼児・児童、初めてバレエを鑑賞する方、長時間の鑑賞が難しい方など、年齢や障がいを越えて誰もが楽しめるよう様々な鑑賞サポートを用意して上演する。手話による同時通訳あり。0歳から入場可能。



＜大駱駝艦・天賦典式「クレイジーキャメル」＞



世界にBUTOHの名を広め、ダンスシーンに衝撃を与え続けている磨赤児が率いる大駱駝艦が、神戸文化ホールでの初公演から5年ぶりに再登場する。「クレイジーキャメル」は少年少女の淡い恋心を、ヴィヴァルディの「四季」に乗せて黄金の舞踏手たちが紡ぐ物語。

【磨赤児】

＜十三代目市川團十郎白猿襲名披露巡業＞

令和4年10月から執り行われている「十三代目 市川團十郎白猿 襲名披露」。約2年の歳月をかけて日本各地を巡業する歌舞伎界の一大行事が、その掉尾^{ちょうび}を飾る直前に神戸文化ホールで襲名披露公演を行う。



【市川團十郎】

＜ヴェルディ：オペラ「ファルスタッフ」＞

神戸市混声合唱団・神戸市室内管弦楽団の総力を結集し、ヴェルディのオペラ「ファルスタッフ」を上演する。

当演目は、大作曲家ヴェルディが人生最後に到達した、音楽と演劇が完全に融合した画期的な傑作であり、合唱団が活きる群像劇である。50周年事業のテーマ「神戸で創る Creating in Kobe」にふさわしく、企画・立案・稽古・本番までの全工程を神戸で完結させる。指揮は混声合唱団音楽監督の佐藤正浩、演出は神戸市出身の岩田達宗、キャストは、両楽団の団員と団出身者を中心とし、日本を代表する歌手も客演に迎える。「ホール・プロ楽団・プロ合唱団」を有する神戸の特色を最大限に活用し、アンサンブル・オペラの傑作に挑む。

＜リビングルームのメタモルフォーシス＞

気鋭の芸術家として世界的に知られる演出家・岡田利規と作曲家・藤倉大が、初めてのコラボレートする本作では、演劇と音楽のパフォーマンスを舞台上に並置。現代社会に切り込むフィクショナルな空間を生み出します。神戸文化ホール公演では神戸市室内管弦楽団によるアンサンブルが演奏を行う。日本初演（東京、神戸、愛知にてツアー上演）。



【「リビングルームのメタモルフォーシス」（ウィーン初演より）（c）Nurith Wagner】

(2) 新開地アートひろば

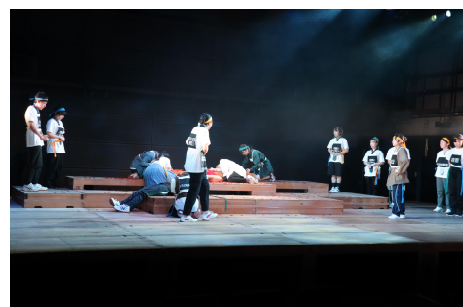


<ニューあそび場の創造（年4回）>

令和5年度に引き続き、施設全体を『あそび場』として捉え多彩なジャンルのアーティストと協働する「ニューあそび場の創造」事業を実施する。当企画ではあそべる作品や空間をアーティストとともに創造し、体験から鑑賞まで様々な文化芸術に触れる機会を創出する。

<Go!Go!High schoolProject>

毎年夏休みの期間に、学校の枠を超えて出会った仲間と一本のお芝居を作り上げる高校生のための演劇ワークショップ。16回目を迎える令和6年度はナビゲーターにF0ペレイラ宏一朗（こういちろう）氏を迎えワークショップと公演を実施する。



(3) KOBE まちなかパフォーマンス支援制度

神戸市では、アーティストの新たな活動機会の創出や、市民が文化芸術やエンターテインメントに気軽に触れられる機会の創出、まちの魅力向上を目的に、三宮・地下鉄沿線エリア等で市が設定したまちなかの公認会場において、市の審査に合格したアーティスト（登録アーティスト）が、専用システムを通じて公認会場の予約を行い、自主的、日常的にパフォーマンス活動を行うことができる制度を令和6年度当初より開始する。

財団としても、市に協力して本制度の運営に取り組み、アーティストの活動機会や活動場所の提供・充実につなげる。

＜公益目的事業＞

文化ホール

1 文化ホール公演事業

(1) 事業方針

- ・3ヵ年計画による開館50周年記念事業（令和5～7年度）を中心に、市民の誇りとなるような神戸発の創造発信事業や、先進的な取り組みを行っている優れた文化施設・芸術団体等と連携した作品群を展開 【創造発信・情報事業】
- ・普及拠点として誰もが舞台芸術に触れる機会を提供するとともに、神戸の街や市民と交流する文化芸術ネットワークを形成 【普及啓発・交流事業】
- ・全国の劇場や教育機関と連携して芸術文化の次世代の担い手を育成し、神戸における創造活動の持続可能性を高めていく 【育成・支援事業】

(2) 事業内容

① 創造発信・情報事業

2年目となる神戸文化ホール開館50周年記念事業の中核として、2023年にウィーン芸術週間で世界初演されたチェルフィッチュ×藤倉大「リビングルームのメタモルフォーシス」を日本初演として上演するほか、神戸では5年ぶりとなる大駱駝艦がその代表作「クレイジーキャメル」を上演。年6回発行する情報誌「ほーるめいと」はコラム等の読み物部分を充実させるなど、神戸文化ホールからの情報発信の強化に努める。

② 普及啓発・交流事業

神戸文化ホール開館50周年記念事業における新たな試みとして、貞松・浜田バレエ団との共同事業の枠組みで、バレエ「コッペリア」をインクルーシブ（社会包摂）の考え方を積極的に採用した事業として実施する。さらに「こどもコブホ2024」シリーズとして、「ウェルカムジャンボリー」、「音楽劇 死んだかいぞく」を上演し、子ども・青少年が優れた舞台芸術に親しむ機会を提供する。さらに、神戸の商店街や公園、芸術団体等と交流する事業等を実施し、新たな観客を育成するとともに地域に必要とされるホール運営を目指す。

③ 育成・支援事業

芸術文化の次世代の担い手を育成し、神戸における創造活動の持続可能性を高めるための取り組みとして、専門人材を講師に招く「アートマネジメント人材養成講座」を全4回のシリーズとして開講するとともに、神戸市近隣の大学や専門職大学等の学生を臨地実習のインターンシップ生として神戸文化ホールが拠点となって受け入れる。また、文化庁事業の障害者による文化芸術活動推進事業を誘致し、鑑賞サポートや障害者の表現支援に関する映像上映や報告会を実施するほか、令和7年度に想定している演劇新作事業のためのワークショップ等を開催し、神戸の若手アーティストの掘り起こしや人的ネットワークの形成に努める。

(3) 令和6年度文化ホール事業一覧

(単位：人)

事業名		開催時期	公演数	開催場所	入場者数
創造発信・情報事業		5事業6公演1企画			6,000
	大駱駝艦・天賦典式「クレイジーキャメル」	7/13	1	神戸文化ホール 中ホール	600
	貞松・浜田バレエ団「創作リサイタル36」(2020年3月中止公演)	9/15	1	神戸文化ホール 中ホール	600
	貞松・浜田バレエ団「くるみ割り人形」	12/14～15	2	神戸文化ホール 大ホール	3,000
	ウィーン芸術週間委嘱作品 チェルフィッチュ×藤倉大 「リビングルームのメタモルフォーシス」	2/1～2	2	神戸文化ホール 中ホール	1,800
	情報誌「ほーるめいと」	年6回発行			
普及啓発・交流事業		10事業20公演			20,850
	劇団唐組第73回公演「泥人魚」	4/19～21	3	湊川公園 特設紅テント	600
	こどもコブホ2024 貞松・浜田バレエ団 ファミリーバレエ 「コッペリア～お人形の恋の物語～」	5/18	1	神戸文化ホール 中ホール	600
	こどもコブホ2024 神戸文化ホール ウェルカムジャンボリー2024 コブホであそぼ！	6/22	1	神戸文化ホール 大ホール	1,500
	こどもコブホ2024 音楽劇「死んだかいぞく」	8/17	1	神戸文化ホール 中ホール	600
	十三代目市川團十郎白猿襲名披露巡業	9/11	1	神戸文化ホール 大ホール	1,500
	第48回 東西落語名人選	9/21	2	神戸文化ホール 中ホール	1,200
	和太鼓松村組 神戸公演2024	11/2	1	神戸文化ホール 大ホール	1,500
	劇団四季こころの劇場 神戸公演 ミュージカル「ガンバの大冒険」	11/26～29	8	神戸文化ホール 大ホール	12,000
	PRAY FROM KOBE ～明日につなげるコンサート～	1/26	1	神戸文化ホール 大ホール	750
	第十七回 神戸能	3/20	1	神戸文化ホール 中ホール	600
育成・支援事業		4事業5公演3企画			554
	文化庁 障害者による文化芸術活動推進事業 シアターフォーオール 上映会・報告会	調整中	1	神戸文化ホール 中ホール	300
	アートマネジメント人材養成講座 一般向け講座	9月～11月	4	中央区文化センター	200
	アートマネジメント人材養成講座 連携大学インターンシップ	6月～2月		神戸文化ホール等	10
	芸術文化観光専門職大学 臨地実務実習(劇場プロデュース実習)	夏季／冬季		神戸文化ホール等	4
	神戸発演劇新作プロジェクト(令和7年度事業の前年度準備)	4月ほか		新開地アートひろば 等	40
神戸文化ホール事業合計		19事業31公演4企画			27,404

2 神戸市室内管弦楽団・神戸市混声合唱団

(1) 事業方針

- ・神戸文化ホールにおける質の高い演奏の提供
- ・演奏水準のさらなる向上
- ・広報強化、アウトリーチの実施による両楽団の周知
- ・自主公演への集客強化と新たな依頼公演の獲得

(2) 事業内容

① 神戸市室内管弦楽団・神戸市混声合唱団

全国の自治体で唯一、ホール専属の神戸市室内管弦楽団と神戸市混声合唱団を保有・運営している強みを活かし、実力ある両団を核とした創造力あふれる企画発信や年齢や障がいを超えて子ども達が楽しむことができる「こどもコンサート」の実施など、普及啓発や社会包摂事業の充実をはかり、「音楽のまち神戸」のシティプロモーション、シビックプライドの醸成に資する。

② 楽団の周知・魅力発信の取り組み

次代を担う子ども達に対する鑑賞機会の提供のため、小学生を神戸文化ホールに招待する「インリーチ事業」と、令和元年度より6年間で市内全小学校へ出張演奏を行う「アウトリーチ事業（6年目）」に地元の音楽家とも連携し継続して取り組んでいく。さらに、市内在住者が通う特別支援学校へのアウトリーチ（出張コンサート）も実施する。

また、令和4年1月から新たに開始した神戸市室内管弦楽団、神戸市混声合唱団の定期演奏会を1年間のセットで聴くことができる「定期会員制度」の募集、サービス内容を強化し、安定した固定客層の獲得を目指す。

引き続き、効果的な広告出稿、SNSの発信の工夫、記者懇談会の開催などで効果的な広報を展開する。

（３）令和６年度神戸市室内管弦楽団・神戸市混声合唱団事業一覧（神戸文化ホール関連）

【自主公演】

（単位：人）

事業名		開催時期	公演数	開催場所	入場者数
神戸市室内管弦楽団	第162回定期演奏会 「英雄が時代を拓く」	4/13	1	神戸文化ホール 大ホール	500
	第163回定期演奏会 「果てなき道へ…」	6/15	1	神戸文化ホール 大ホール	500
	第164回定期演奏会 「光さす闇」	9/14	1	神戸文化ホール 大ホール	500
	第165回定期演奏会 「ジャン＝ギアン・ケラスを迎えて」	11/23	1	神戸文化ホール 大ホール	500
	第166回定期演奏会 「In Flower」	3/15	1	神戸文化ホール 大ホール	500
神戸市混声合唱団	合唱コンクール 課題曲コンサート	5/11	1	神戸文化ホール 大ホール	500
	秋の定期演奏会 「現代の祈りといにしえの世俗」	9/28	1	神戸文化ホール 大ホール	500
	春の定期演奏会 「阪哲朗の合唱」	3/29	1	神戸文化ホール 大ホール	500
合同	こどもコンサート	8/3	1	神戸文化ホール 大ホール	500
	神戸文化ホール開館50周年記念事業 ヴェルディ：オペラ 《ファルスタッフ》	12/21	1	神戸文化ホール 大ホール	1,000
自主公演合計					5,500

【主な依頼公演】

事業名		開催時期	公演数	開催場所	入場者数
混声	アウトリーチ事業（低学年）	5月下旬～3月末	31	市内小学校	4,650
合同	アウトリーチ事業（高学年）	5月下旬～3月末	31	市内小学校	4,650
混声	ろうきんコンサート	4/20, 4/21	2	尼崎市総合文化センター あましんアルカイックホール 神戸文化ホール 大ホール	2,000
室内	ろうきん 夏休みこどもコンサート	7/26	1	あいめっせホール	200
混声	佐藤正浩プロデュース・オペラシリーズ オペラ『真珠とり』 演奏会形式	8/31	1	住友生命いずみホール	800
合同	文化ホールインリーチ事業	2/6・7	4	神戸文化ホール 大ホール	6,000
依頼公演合計					18,300

3 文化振興事業

(1) 事業方針

- ・芸術文化による神戸ブランドの創造発信
- ・地元アーティスト・団体の芸術文化活動をサポートし、神戸文化の創造・発展に努める
- ・市民のくらしに芸術文化を根づかせる取り組み
- ・次世代の芸術文化の担い手や支え手の育成

(2) 事業内容

① 芸術文化による神戸ブランドの創造発信

神戸に根付いたジャズ文化を市内外へ発信するため、観光・商業・報道等さまざまなジャンルの民間企業・個人・官公庁等と連携し、「ジャズの街神戸」推進協議会の活動として、「神戸ユースジャズオーケストラ」の運営をはじめ、『神戸ジャズの日』記念イベントや、公式ウェブサイト「JAZZ TOWN KOBE」等を通じ、さまざまな神戸のジャズに関する情報を集約し、発信を行う。

また、神戸ジャズ100周年を機に、令和5年度より民間主体で企画・運営しているまちなかでのジャズイベント「Kobe Jazz Centennial」での事務局機能を担い、事業の継続実施に向けて支援することで、ジャズの魅力発信・普及啓発をはかる。

② 情報収集・提供の充実

地元のアーティストや文化芸術関係者を対象に、ウェブサイトから気軽に相談できる「こうべ文化芸術相談窓口」を設置し、文化芸術活動に関する相談（資金調達、活動拠点、広報等）に対し、専門家等と連携し情報提供や助言等を実施する。また、アーティスト向けのセミナーや、文化センターとの連携事業（公募したアーティストによるワークショップ・アート展示等）など、学びや交流機会の提供、新たな活動機会の創出につながる取り組みを積極的に行う。

これらの取組を通じて、地域の文化芸術活動にかかる情報や、必要な知見、ネットワークを蓄積し、神戸の文化芸術振興・発展につなげていくことを目指す

③ 市民参加型芸術文化事業の充実

市民による芸術文化活動の発表機会を創出するため、「神戸市吹奏楽祭」や「モーブガレット交歓会」、「シャンソン・ポピュレールコンクール」等の事業を行う。

④ 地元芸術文化団体との協力関係の強化及び若手芸術家の発掘・支援

神戸文化の基盤となっている地元芸術文化団体の活動を支援するとともに、神戸市室内管弦楽団・神戸市混声合唱団が行っている市内小学校へのアウトリーチ事業を地元芸術団体と連携して行う等協力関係の強化を図る。また、「神戸市吹奏楽祭」、「JAPAN STUDENT JAZZ FESTIVAL」等を通じて今後の神戸文化の担い手となる若手人材の育成を支援する。

⑤ 芸術文化を担う人材の育成

アートマネジメント業界を志望する学生や文化芸術団体（劇場・音楽堂、実演団体）に所属するスタッフ等を対象とした講座の実施や、大学等と連携したインターンシップの受け入れ、あるいは学生等による自主的な公演制作の支援等を通じ、アートマネジメントの「担い手」養成を図る。また、今年度はスペシャル講座として文化庁参事官（生活文化創造担当）を講師に招き、神戸市を含めた自治体の文化関係の職員向けにも講座を実施する。

（３）令和６年度文化振興課事業一覧（神戸文化ホール関連）

（単位：人）

事業名	開催時期	開催場所	入場者数
神劇まわり舞台	4月～3月	市内小劇場	1,200
こうべ文化芸術相談窓口 （アーティストからの相談対応）	通年	メールまたはオンライン	—
KOBE JAZZ DAY 2024 旧居留地コンサート （「ジャズの街神戸」推進事業）	4/7	旧居留地三井住友銀行 神戸営業部前	600
神戸ユースジャズオーケストラの運営 （「ジャズの街神戸」推進事業）	通年	100BANホール、ジー ベックホールなど	—
神戸市吹奏楽祭	4/29, 11/3	神戸文化ホール 大ホール	3,500
こうべ全国洋舞コンクール	5/3～5/6	神戸文化ホール 大・中ホール	2,000
神戸三曲協会演奏会	6/9	神戸文化ホール 中ホール	350
神戸フィルハーモニック定期演奏会等	6/30 10/13, 1/11	神戸文化ホール 大ホール	1,500
神戸ジャズ道場（中止）	—	—	—
JAPAN STUDENT JAZZ FESTIVAL	8/23～8/25	神戸文化ホール 大ホール	2,500
全日本シャンソン・ポピュラーコンクール （ファイナル）	9/28	神戸文化ホール 中ホール	300
KOBE JAZZ CENTENNIAL	10/14	三宮・居留地周辺	10,000
神戸ジャズストリート	10/12・13	北野町界限10か所程度	2,000
神戸音楽家協会・神戸からのしらべ	10/27	神戸文化ホール 中ホール	300
文化振興事業合計			24,250

4 フルートコンクール事業

令和7年度の第11回神戸国際フルートコンクールに向けた準備や関連事業等に取り組んでいく。

5 情報発信

（１）神戸市室内管弦楽団・神戸市混声合唱団の情報発信強化

神戸市室内管弦楽団・神戸市混声合唱団について、専門人材のネットワーク・SNSを活用した積極的な情報発信、マスコミとの関係構築による記事化・放送化に引き続き取り組む。また、各公演に音楽評論家を招き、注目される団体としてのムーブメントを起こし告知に資するといった戦略的広報を更に進める。

（２）インターネットによる情報発信

当財団が主催する主要事業などを幅広く紹介するとともに、管理している各施設の空室情報や講座の受講申込み、各種情報誌の内容をホームページに掲載する。

また、ツイッターやフェイスブック、インスタグラムなど多様な SNS を活用したりリアルタイムの情報発信に積極的に取り組むとともに、動画共有サイト等による事業広報を展開する。

加えて、地元のアーティストや文化芸術関係者を対象とし、ウェブサイトから気軽に相談できる「こうべ文化芸術相談窓口」について、ホームページをより分かりやすいものに改善し、引き続き、広く利用を促すとともに、セミナーや座談会、交流会などの取組を通じて、地域の文化芸術活動にかかる情報や、必要な知見、ネットワークを蓄積し、神戸の文化芸術振興・発展につなげていく。

（３）「KOBE C 情報」の発信

神戸を中心とした文化芸術イベント情報を主催者から提供いただき、ウェブサイトや SNS で広く発信。スマートこうべと連携しさらに情報発信に積極的に取り組む。相談窓口やアーティスト支援事業と連携し、文化芸術に関する情報プラットフォーム形成を目指す。

（４）文化ホール公演事業の情報発信強化

神戸文化ホールの情報発信機能として、情報誌「ほーるめいと」を発行（15,000 部／隔月）する。また SNS を活用したメールマガジン、フェイスブック、ツイッターでの発信や、ホームページの内容の充実など若い職員の意見を取り入れながら発展させていく。

（５）広報 PR の強化

財団事業を総合的かつ横断的にプロモーションし、公演の入場者数や入場料収入の増加につなげていく。

また、登用した専門人材の全国的なネットワークを活用し、マスコミへ各種資料提供を行うなど情報発信に積極的に取り組む。

6 神戸文化ホール貸館・管理事業

(1) 事業方針

- ・弾力的なホール運営と専門性の高いサービスの提供
- ・施設利用者、来館者の意見を反映したホール運営
- ・文化の発信拠点として地元芸術団体・若手芸術家を支援
- ・基幹ホールにふさわしい安全・安心な管理運営

(2) 事業内容

① 弾力的なホール運営と専門性の高いサービスの提供

年中無休、早朝仕込み・深夜撤収など、ニーズに応じた弾力的な運用を継続する。
また、舞台スタッフによる専門性の高い舞台運営、ホスピタリティ溢れるホール運営で利用者をサポートする。

② 施設利用者、来館者の意見を反映したホール運営

利用後のアンケート等でいただいたご意見・ご要望をもとに、ホール運営全般の改善に努める。

③ 文化の発信拠点として地元芸術団体・若手芸術家を支援、広域からのホール利用の促進

抽選会における優先利用制度や練習利用の割引料金制度による地元芸術団体、若手芸術家の活動支援を継続する。また、メールを用いた事前受付制の抽選会を継続して実施することで、遠方の利用希望者のホール利用のアクセシビリティを向上させる。

④ 基幹ホールにふさわしい安全・安心な管理運営

設備全般にわたる日常的な点検の実施、不良箇所への速やかな対処に努め、神戸市の公共基幹ホールにふさわしい安全・安心な管理運営を行なう。

また、キャッシュレス決済（電子マネー）で利用料金やチケット代金の支払いが可能となる電子精算機器の整備や、ホールでのインターネット配信等のため光回線利用設備を整備、非接触で入場を可能とするスマートゲートの本格稼働により利用者にとってより使いやすくなるサービスと設備を引き続き提供する。

新開地アートひろば

1 新開地アートひろば事業

(1) 事業方針

- ・文化芸術を軸とした地域の活性化と賑わいづくり
- ・子育て世代をはじめ、幅広い人々が集う、地域にひらかれた文化活動拠点
- ・継続したアーティストの育成・支援
- ・市内外の文化施設や教育機関、財団のネットワークを活用した交流や連携の強化
- ・実施事業の評価・リサーチ・研修による事業向上及び人材育成

(2) 事業内容

① 創造発信・地域活性化・施設活用事業

アーティストとの協働による創造的プログラムを通年にわたり計画・実施する。
様々なジャンルのアーティストを起用して事業を展開、幅広い世代に向けた鑑賞・参加型イベントのほか、毎月ワークショップを実施することで地域の文化活動拠点を目指す。

事業名：「ニューあそび場の創造」「月イチワークショップ（仮）」

② アーティスト育成・支援事業

次代を担う若手芸術家の育成プログラムの他、アーティストの創作活動や発表の場の提供を行う。長期的にアーティストを支援する仕組み作りや、文化芸術活動に携わる様々な人に向けた育成支援事業を展開し、アートファンの裾野を広げることを目的とする。

事業名：「Go!Go! High school Project」、「アーティストサポートプログラム」

③ プログラム連携・ネットワーク構築事業

市内文化施設（KIITO、C.A.P、ファッション美術館等）との連携プログラムの他、トライやるウィークや新開地周辺地域との連携プログラムの実施。

事業名：「Marching KOBE」「各種提携・共催事業（未定）」

(3) 令和6年度 新開地アートひろば事業一覧

(単位：人)

事業名		開催時期	公演数	開催場所	入場者数
創造発信、地域活性化・施設活用事業		7事業	87	公演／日間	8,700
1	ニューあそび場の創造「to R mansion」	6月	5	ホール、lroom、てててパーク	2,000
2	ニューあそび場の創造「新開地おぼけひろば」	7月・8月	30	ギャラリー、ホール、lroom、てててパーク	4,000
3	ニューあそび場の創造「野原万里江(タイトル未定)」	12月	30	ギャラリー、ホール、lroom、てててパーク	1,000
4	ニューあそび場の創造「(タイトル未定)」	1～3月	10	ホール他	1,000
5	月イチワークショップ(てててパーク)	通年	4	てててパーク	500
6	月イチワークショップ(シルクスクリーン)	通年	4	アトリエ	100
7	月イチワークショップ(地域活用)	通年	4	新開地周辺	100
アーティスト育成・支援事業		2事業	21	日間	205
1	Go!Go!High school Project 2024	7/6(土)～8/18(日)	20	ホール	200
2	アーティストサポートプログラム	通年	1	アトリエ	5
プログラム連携・ネットワーク構築事業		2事業			200
1	Marching KOBE、トライやるウィークほか	通年	-	神戸市内	100
2	各種提携・共催事業	通年	-	新開地アートひろば	100
その他事業		2事業	12	日間	5,200
1	新開地ジャズヴォーカルクイーンコンテスト・音楽祭	5/11(土)、12(日)	2	ホール	200
2	土曜マルシェ	毎月第2土曜日	10	lroom	5,000
新開地アートひろば自主事業合計		13事業	120	公演／日間	14,305

2 情報発信

情報発信機能を充実、強化するため、チラシやホームページ、SNSなど幅広い広報PRに努めると共に、子ども向けのイベント情報ツール(すぐる等)を活用し広報活動を実施する。

3 新開地アートひろば貸館・管理事業

(1) 事業方針

- ・条例・規則に基づいた公平・公正なサービスの提供
- ・利用者が安全・安心・快適に利用できる貸館運営・利用者対応
- ・市民の芸術文化活動の促進・誘致
- ・利便性の向上と芸術文化活動への協力

(2) 事業内容

① 条例・規則に基づいた公平・公正な貸館サービスの提供

条例規則をスタッフ全員が理解し、「新開地アートひろば管理規定」に沿った運営を行うことで、職員間でのサービスの質に差が生じない、恒常的に安定したサービスを提供する。

② 利用者が安全・安心・快適に利用できる貸館運営・利用者対応

「練習施設」と「発表施設」の用途に即したサポート体制を整え、利用者のニーズに

応えることで、また利用したいと思える安心感・快適性を提供する。また、幼児向けスペースや1階オープンエリアでは、職員が駆け付け可能な体制の整備により、安全性の確保を行う。

③ 市民の芸術文化活動の促進・誘致

前年に引き続き、アトリエ専門担当者の配置により、利用率の向上促進を継続する。また、リニューアルによる1階スペースの賑わいを、知名度の向上に結び付けることで、新規利用客の獲得に取り組む。

④ 利便性の向上と芸術文化活動への協力

練習施設の予約のオンライン化を進め、施設利用の利便性を向上させる。また、職員が1階に常駐することによる利便性の確保と、文化芸術関連の情報発信のスペースの整備により、市民の芸術文化活動の後押しと拡がりに貢献する。

各区文化センター

1 文化センター講座・地域連携事業

(1) 事業方針

- ・「地域住民とともに歩む文化センター」として市民の文化活動ニーズに対応、講座事業や地域連携事業の実施
- ・子育て世代、子ども対象に参加しやすい料金設定でのイベント、講座を増やす
- ・作品展示会・発表会の実施
- ・「多文化共生」をテーマにした事業実施
- ・財団が有する文化事業運営ノウハウや、文化団体との人的ネットワークを活用

(2) 事業内容

① 講座事業

入門者・初心者対象の文化・教養・スポーツなどの講座を、新規に学びたい方にも試みやすい3ヶ月単位の期間（春季・夏季・秋季・冬季）に令和2年度に変更した。神戸市内の他大手カルチャースクールが事業撤退あるいは縮小していく最近の状況下でも着実に講座事業を継続し文化活動を楽しんでいただけるよう引き続き運営していく。また、一部センターでは引き続き、オンライン講座を継続して実施する。

② 地域連携事業（地域住民参加型のイベント及び地域文化活性化事業）

各センターの特色を生かした住民参加型の事業に取り組むとともに、「農村歌舞伎」や「須磨琴」など地域の伝統文化や歴史を生かした事業を実施する。令和2年度より指定管理となった旧勤労市民センターを中心に、市の文化財課や博物館との連携事業を多数展開した実績を踏まえて、今年度も文化振興に関わる他施設との連携を強化していく。

また地域文化活性化事業として、従来の伝統文化や歴史を生かした事業に加え、神戸にゆかりのある音楽家や落語家を迎えた公演等、今まで以上に色彩豊かな事業展開を行っていく。

令和6年度は、文化庁の伝統文化親子教室事業（地域展開型）に応募し、書の芸術祭や農村歌舞伎、須磨琴等、各地域で伝統文化親子教室事業（教室実施型）を実施している教室と連携した事業を実施していく。

③ 作品展示会・発表会

文化センターのギャラリーやロビー、ホールにおいて、講座受講生をはじめとする市民の絵画、陶芸、写真などの作品展示会や舞踊、音楽等の発表会を実施する。

④ 「多文化共生」をテーマにした事業実施

神戸市が中央区文化センターの事業目標として掲げている「多文化共生」に即し、中央区文化センターを中心に外国人アーティストによる事業を実施する。神戸市在住のイタリア人ヴァイオリニストを中心とした海外アーティストのミニコンサートを中央区文化セン

ターにおいて開催する。他にも、海外との繋がりが深い旧居留地という特色を活かし、外国人による母国文化の紹介や交流イベントなどを企画する。

令和6年度文化センター事業一覧（文化センター）

（単位：人）

事業名		開催時期	開催場所	入場者数
文化センター共通事業				
	市民の第九2024	12/7	神戸文化ホール	1,200
地域文化活性化事業				
1	七夕コンサート	7/7	東灘区文化センター	450
2	書の芸術祭	7/13	東灘区文化センター	400
3	子供お楽しみ劇場	7/20	東灘区文化センター	300
4	親子で楽しむジャズコンサート	10/6	東灘区文化センター	300
5	文化センター音楽祭	12/15	東灘区文化センター	300
6	定例講座発表会	3/20	東灘区文化センター	500
7	民謡春祭り（灘区民ホールにて）	5/19	灘区文化センター	300
8	博物館セミナー	6/15	灘区文化センター	100
9	灘区コーラスの集い（灘区民ホールにて）	6/28	灘区文化センター	300
10	美術館連携セミナー	7月	灘区文化センター	100
11	CS親子イベント	8月	灘区文化センター	150
12	美術館連携セミナー	9月	灘区文化センター	100
13	博物館セミナー	11/30	灘区文化センター	100
14	定例講座発表会（うはらホールにて）	10/30	灘区文化センター	300
15	マウロ・イウラート定期演奏会	5/26	中央区文化センター	100
16	アマチュアクラシックフェスティバル	8/4	中央区文化センター	100
17	こどもワークショップ 大きな絵を描こう	8/7	中央区文化センター	100
18	マウロ・イウラート定期演奏会	10/6	中央区文化センター	100
19	ランチタイムコンサート	10/10	中央区文化センター	100
20	イブニングタイムコンサート	11/28	中央区文化センター	100
21	マウロ・イウラート定期演奏会	12/8	中央区文化センター	100
22	マウロ・イウラート定期演奏会	3/2	中央区文化センター	100
23	ニューイヤーコンサート	1/19	中央区文化センター	100
24	博物館連携セミナー	9/28	兵庫区文化センター	400
25	兵庫オータムフェスタ	10/26	兵庫区文化センター	100
26	博物館連携セミナー	11/30	兵庫区文化センター	100
27	母親コーラス	7/13	北区文化センター	300
28	農村歌舞伎	7/20	北区文化センター	300
29	サマータイムコンサート（地域の中学校・高校）	8/24	北区文化センター	300

30	KOIKINI シャンソン	9/7	北区文化センター	300
31	すずらんホールコンサート	11/10	北区文化センター	300
32	すずらん音楽コンサート	11/30	北区文化センター	300
33	バレンタインコンサート	2/11	北区文化センター	300
34	北区音楽協会きさらぎコンサート	2/23	北区文化センター	300
35	定例講座発表会	3/9	北区文化センター	300
36	ありまホール映画サロン	5/18	北神区文化センター	100
37	北神ジャズライブ	6/9	北神区文化センター	150
38	北神ふれあい演芸会	7/14	北神区文化センター	150
39	ありまホール映画サロン 夏休み子供大会	8/3	北神区文化センター	300
40	神戸音楽家協会コンサート	8/25	北神区文化センター	300
41	北神オータムフェスタ	10/5	北神区文化センター	300
42	Special Jazz Live	10/27	北神区文化センター	300
43	クリスマスコンサート	12/14	北神区文化センター	300
44	新春おたのしみ会	1/12	北神区文化センター	300
45	ベンチャーズサウンド・コンサート	1/19	北神区文化センター	300
46	シャンソングダムール	3/8	北神区文化センター	300
47	みんなでわいわいチャリティーコンサート	3/9	北神区文化センター	300
48	定例講座発表会 1	3/15	北神区文化センター	300
49	定例講座発表会 2	3/16	北神区文化センター	300
50	県警音楽隊コンサート	6/14	長田区文化センター	300
51	ローゼズフェスティバル	9/29	長田区文化センター	400
52	長田わいわいステージショー	11/9	長田区文化センター	300
53	サルビアフェスティバル	3/1	長田区文化センター	300
54	田辺真人 歴史講演会	3/12	長田区文化センター	200
55	スプリングコンサート	4/21	須磨区文化センター	150
56	須磨区民寄席	5/26	須磨区文化センター	150
57	サマーコンサート	7/14	須磨区文化センター	150
58	室内楽コンサート	9/8	須磨区文化センター	150
59	母親コーラス	9/26	須磨区文化センター	150
60	須磨の歴史	10/20	須磨区文化センター	150
61	クリスマスコンサート	12/8	須磨区文化センター	150
62	0才からのコンサート	12/15	須磨区文化センター	150
63	須磨区民寄席	1/19	須磨区文化センター	150

64	ウインターコンサート	2/2	須磨区文化センター	150
65	神戸女子大コンサート	2/16	須磨区文化センター	150
66	定例講座発表会	3/16	須磨区文化センター	150
67	親子・ペアでアフタヌーンティーコンサート	8/24	北須磨文化センター	100
68	ジャズワインコンサート	10/5	北須磨文化センター	100
69	ハロウィンまつり	10/1-11/26	北須磨文化センター	700
70	定例講座発表会	3/22	北須磨文化センター	100
71	区民の音楽の広場	5/19	垂水区文化センター	300
72	垂水声楽アンサンブルコンサート	7月	垂水区文化センター	150
73	こどものためのコンサート	8月	垂水区文化センター	300
74	フェニックスコンサート	11月	垂水区文化センター	300
75	ゼラニウムフェスティバル	11月	垂水区文化センター	300
76	響けハーモニー	11月	垂水区文化センター	300
77	定例講座発表会	3月	垂水区文化センター	300
78	なでしこ月曜シネマ	4/8	西区文化センター	300
79	なでしこ月曜シネマ	6/10	西区文化センター	300
80	西区合唱の集い	7/21	西区文化センター	300
81	ユースステーション夏祭り	8/2	西区文化センター	300
82	サマーピアノコンサート	8/4	西区文化センター	300
83	なでしこ月曜シネマ	8/12	西区文化センター	300
84	こども農村歌舞伎	9/14, 15	西区文化センター	500
85	ジャズ イン セイシン	9/22	西区文化センター	300
86	ハロウィンコンサート	10/13	西区文化センター	200
87	なでしこ月曜シネマ	10/14	西区文化センター	300
88	趣味の集い	10/20	西区文化センター	300
89	なでしこ寄席	11/23	西区文化センター	200
90	なでしこ月曜シネマ	12/9	西区文化センター	200
91	みんなで歌おう クリスマスコンサート	12/15	西区文化センター	300
92	シャンソン教室発表会	2/15	西区文化センター	300
93	なでしこまつり	2/23	西区文化センター	200
94	定例講座発表会	3/8	西区文化センター	500
事業合計				24, 150

2 神戸市室内管弦楽団・神戸市混声合唱団

(1) 事業方針

- ・各区文化センターにおける質の高い演奏の提供

(2) 事業内容

各区文化センターにおいて、従来の公演に加え、令和4年度から新たにスタートした神戸市室内管弦楽団による、安価な料金で休憩なし60分以内の企画を継続する。公演後にはトークなどの交流プログラムを実施するほか、定期演奏会で取り上げないような作品、出演者の組み合わせを積極的に試み、市民に新しい音楽体験を届ける。

令和6年度神戸市室内管弦楽団・神戸市混声合唱団事業一覧（文化センター関連）

（単位：人）

事業名		開催時期	公演数	開催場所	入場者数
室内	セレクション Vol.5 「The Winds!」	7/13	1	長田区文化センター別館 ビフレホール	300
	セレクションVol.6 「プラハへの愛」	3/1	1	東灘区文化センター うはらホール	500
混声	あなたに贈るコンサート 「神戸・兵庫ゆかりの歌」	6/2	1	長田区文化センター別館 ビフレホール	300
	オペラ《ファルスタッフ》への招待(仮称)	11/3	1	東灘区文化センター うはらホール	500
	阪神・淡路大震災30年メモリアル コンサート	1/17	1	東灘区文化センター うはらホール	500
自主公演合計					2,100

3 文化振興事業

(1) 事業方針

- ・市民のくらしに芸術文化を根づかせる取り組み

(2) 事業内容

市民による芸術文化活動の発表機会を創出するため、「シャンソン・ポピュレールコンクール（神戸大会）」等を企画していく。

令和6年度文化振興課事業事業一覧（文化センター関連）

（単位：人）

事業名	開催時期	開催場所	入場者数
こうべ文化芸術相談窓口 センター関連企画 （コンサート・ワークショップ・アート展示等）	年度前半で公募 年度後半で実施	各文化センター	500
全日本シャンソン・ポピュラーコンクール （神戸大会）	6/1	長田区文化センター別館 ピフレホール	170
全日本シャンソン・ポピュラーコンクール （セミファイナル）	8/3	長田区文化センター別館 ピフレホール	150
母親コーラス「モーブガレット交歓会」	12/5, 6	長田区文化センター別館 ピフレホール	800
神戸三曲協会独奏会	3/16	東灘区文化センター うはらホール	200
文化振興事業合計			1,820

4 情報発信

文化センターの情報発信機能の充実を図るため、チラシやホームページでの情報提供のほか、ポスティング、文化センターだよりの発行、友の会運営に取り組むとともに SNS を積極的に活用していく。令和3年度より市民の第九公式 LINE アカウントを開設し、公式マスコットキャラクター「べんちゃん」のスタンプを発売。

5 文化センター貸館・管理事業

（1）事業方針

- ・料金割引制度や利用団体への広報・相談サポートなどの向上と積極的な広報活動による利用促進
- ・長年培ったノウハウの活用による、安全・安心で快適な利用環境の提供
- ・市立の貸館施設として、公的機関及び団体に研修・会合・健診等の誘致活動を実施
- ・財団が運営する定例講座とは別に、利用率の低い貸室を市民の「教えたて」ニーズ対応として貸館利用で講師が、一定期間講座を開設することで、市民の「学びたい」ニーズにも応え、利用率改善にもつなげる
- ・多くの市有施設を一体管理する新貸館システム「あじさいネット」を令和5年度から導入、引き続き、利用者の利便性の向上につなげていく。

（2）事業内容

① サービスと利便性の向上

例：休館日の祝日開館、インターネット予約受付、インターネット無料接続サービスの提供、利用料金の割引対象拡充、利用料金等のキャッシュレス決済の導入
市有施設利用申し込み一体管理システム（あじさいネット）導入など

② 地域文化団体との連携強化による情報発信や運営サポート支援

例：地域文化団体の利用料金割引拡充、貸館利用団体専用掲示板設置など

③ 積極的な貸館セールス

例：「文化センターだより」発行、ホームページの活用

入口付近設置の大型ディスプレイによる、空室状況の掲示

④ 省エネルギーや環境を意識した設備管理

例：節電、環境保護の取り組みの日常業務への組み入れ

<収益事業>

(1) 神戸文化ホール貸館・管理事業

神戸文化ホールにおいて、コンベンションなど文化活動以外を目的とする活動の場の提供を図る。また自動販売機設置や駐車場など神戸文化ホール利用者へのサービス向上を行う。

※施設概要	大ホール	: 2043 席
	中ホール	: 904 席
	リハーサル室	: 150 名
	練習室 1～5	: 15 名～150 名
	多目的室・特別控室	
	自動販売機	: 7 台

(2) 新開地アートひろば貸館・管理事業

子育て世代をはじめ、幅広い人々が集う地域に開かれた施設を目指す。特に1階は、子ども向けスペースや、飲食店舗「はっちゃんの台所」など、充実したオープンスペースにより、利用者が気軽に立ち寄り、集いやすいスペースとしての運営を図ること、来館人数と知名度のを向上を目指し、収益に繋げる。

※施設概要	多目的ホール	: 232 席
	ギャラリー	: 129 m ²
	リハーサル室 1～2	: 120 m ² ～189 m ²
	会議室 1～2、スタジオ 1～3、1room 等	
	てててパーク	: 88 m ²
	自動販売機	: 2 台

(3) 文化センター講座・地域連携事業

当財団が指定管理者として管理運営する文化センターにおいて、美容・スポーツなどの文化振興目的以外で利用者ニーズの高い講座や自主事業を開催する。

※例 講座：健康体操、スポーツ吹矢、バドミントン、卓球、水泳など
自主事業：コミュニティフェスティバル、卓球大会など

(4) 文化センター貸館・管理事業

指定管理者である文化センターにおいて、イベントなど文化活動以外を目的とする活動の場を提供する。また自動販売機設置や駐車場等文化センター利用者へのサービス向上を行う。

※施設概要	大ホール、体育施設、プール	
	会議室、多目的室	
	和室・音楽室・美術室・陶芸室等	
	自動販売機	: 34 台
	駐車場（北神区文化センター）	: 123 台

＜法人管理運営事業＞

（１）専門性の強化・効率的な執行体制の構築

芸術文化事業についての研修等の充実を図り、職員の知識の向上及び専門性の強化など人材育成に努めるとともに、優秀な職員を固有職員として登用する。

平成 30 年度から、職員研修を充実させ、職員に基礎実務研修や専門家を招聘した特別講義等を定期的で開催し、人材育成プログラムの充実を図っている。

令和 3 年度から、専門人材を積極的に登用し新文化ホールを見据えた演奏事業、文化ホール事業の強化を行うほか、イベント運営のノウハウ修得も目指し「六甲ミーツ・アート芸術散歩」の事務局を担う六甲山観光株式会社への人的支援を引き続き実施する。

（２）経営の安定化

「中期経営計画 2026」で定める目標の実現に向け、事業を着実に実施していくためには、経営の安定が必須であることから、事業収入の確保のほか、公的及び民間団体からの助成金の獲得、税制優遇制度を活用した寄附など外部資金の獲得に向けて、これまで以上に力を入れて取り組む。

また、当財団事業について、改めて再構築の観点から徹底的な見直しを進めていくとともに、令和 3 年度よりセグメント会計を導入し、事業部毎の独立採算を目指している。

平成 30 年 7 月に地元経済界が立ち上げた芸術文化を支援する「神戸文化マザーポートクラブ」の事務局を当財団が担うことで、芸術文化界と地元経済界のつなぎ役を担うとともに、当財団としても経済界との関係を深め、当財団に対する企業協賛等支援の獲得を目指していく。